

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

にじのかけはし

vol.
47
2019.08



「にじのかけはし」 リニューアル

広報委員会 高橋麻衣

今年度から、ついに!!
カラー印刷となりました!!
皆様のキラキラした瞳と素
敵な笑顔、頑張っている気合
の汗や、共感した綺麗な景色。
そのままの感動をご家族の皆
様、地域の皆様、各関係機関の
皆様にも感じていただけるよ
う、これまで以上に『読んで楽
しく、見て楽しく』利用されて
いる方々の生き生きとした表
情を、盛沢山でお届けしたい
と思います。
今後も、よろしく願いま
す。

発行年月日
令和元年8月1日

発行
社会福祉法人 安房広域福祉会
〒294-0231 千葉県館山市中里291
TEL 0470-28-2422
FAX 0470-28-2424
<http://www.nakazato.or.jp/>

中里の家

みんなが主役!! レク大会!

支援員 天野 孝也

令和になり初めてのレクリエーション大会! 天候に恵まれて…と言いたかったのですが前日から雨が降り、昨年度に続き旧富崎小学校の体育館で行いました。5月に入り利用者さんから「何の競技をするの?」「パン食い競争やるんだよね?」と何度もお話しされており、楽しみにしていました。

当日の朝、利用者さんは紅白に分かれた服装を身にまとい、やる気満々な様子で参加していました。利用者さん・職員によるアトラクションやパン食い競争、仮装リレーなどなど利用者さん・職員共に楽しい時間を過ごすことができました。最後に、来年こそは太陽を味方に付けグラウンドで行いたいなと強く願っています(笑)。



中里 ワークホーム

実習をさせていただいて…

了徳寺大学2年 萩原 皓人

6月24日から1週間、中里ワークホームで実習をさせていただきました。実習初日、利用者さん達が明るい挨拶と共に温かく迎えてくださいました。実習は利用者さん達と一緒に仕事をし、それぞれの役割に責任を持って行っていました。職員の方々も、利用者さん達が自立した活動ができるように支援をされていて、その思いが伝わってきました。実際に利用者さん達と会話をする中で、生き生きした表情を感じることができました。

今回、中里ワークホームで実習をさせ



ていただき、普段体験することのできない、とても実になる経験となりました。本当にありがとうございました。



こすもす

賑やかな放課後

支援員 山田 真奈美

こすもすの前にバスが停車すると、元氣よく子供たちが「ただいま」と入ってきます。

すぐに着替えを始める子、真っ先におもちゃで遊び始める子、手を洗いうちを待っている子、先生あね！と話し始める子。

静かだった室内は、あつという間に賑やかになります。

おやつを食べ終わると、天気の良い日はお散歩に出かけ「今日は電車見られるかな」「やぎさんは居るかな」などと話をしながら歩き慣れたコースを散策します。

こすもすの中では、庭に出て滑り台をしたり、自転車や三輪車に乗ったり、砂場で遊んだり、室内でお友達とごっこ遊びをしたり、絵本を眺めたりと其々の時間を過ごしています。

先日は、皆でアロハガーデンへ出かけ、動物たちと触れ合ったり、広い園内を散策をして楽しく過ごしました。

梅雨が終わり、夏本番がやってきました。夏本番といえは、皆が楽しみにしている夏休み！今年の夏休みは、子供たちとどんな思い出が作れるのか、私たち職員も楽しみにしています。



こすもす

こすもすヨーイドン

保育士 杉村 まり子

6月19日、青空の下こすもすにて、つくしんぼクラスの保育参観を行いました。今年は、中庭にて「運動会」をいたしました。普段の遊びの中でかけっこや玉転がしなどを楽しんでいた、大好きな遊びのひとつを家族の方と一緒にしました。

かけっこは名前を呼ばれ一人ずつ走ったり、みんなで手をつないで家族の方の待つところまで笑顔で走りました。

玉転がしは手や足を使って家族の方と協力して玉を転がしゴールしました。玉入れは子供より大人が夢中になり、玉を投げては人に当たり、楽しんでいました。

パン食い競争は子供の目がキラリ。走って行きパンを手にとると嬉しそうなお表情でパンを握りしめていました。最後のレースは職員二人でどちらも負けるものかと必死になっていました。

暑い中頑張った皆さんには、施設長からメダルがプレゼントされ、喜んで帰路に着きました。



中里 ワークホーム

田植えを終えて

支援員 滝川哲男

私が農産作業班に携わるようになって3年、ある程度の流れは解ってきたものの、天候に左右され思うように進められない状態でありました。

まずは耕運に始まり、田んぼの土作り、水を入れまた耕運、そして代かきを行いやっと田植えへと繋がりますが、またしても天候に阻まれ、思う様には中々進みませんでした。

ようやく苗を植え終わり、今後は水の管理や草刈り、厄介者の赤いアイツに悩まされたりと気の抜けない時期です。梅雨に入り水不足も緩和され、スクスクと成長しているの、今年も皆様に美味しいお米を提供できることと思います。稲刈りまであとわずか、皆様楽しみに待っていてください。



赤いアイツとは
ボウのこ
かな...



中里の家

北海道に行ってきました。

支援員 小林 理恵

6月25日〜27日、利用者さんのご要望により「北海道2泊3日」の旅行を実施させて頂きました。

当日は、天候に恵まれ皆さんこの日を楽しみにされ、「ラーメン食いたい。」「メロン食いたい。」「ワクワクしながら、いざ!! 快適な空旅へ。」

1日目、ファーム富田にて少し早めのラベンダーが咲いている花畑を散策し、甘くておいしいメロンを味わいました。

2日目、旭山動物園にて園内をゆっくりと見物しました。

そして、旅の醍醐味といえはおいしい料理を食することではないでしょうか。カニやジンギスカン鍋を堪能することができ、おいしいねと話されていました。

皆さんの楽しまれている様子を目にすることができ、本当に良かったことと思います。



◀ 青い池



桜の里

交流会楽しかったね！

支援員 森村 誠

月曜日、今週も生活介護事業所桜の里の一週間が始まります。今週もどんな楽しい出来事、楽しい活動が待っているのか、ドキドキの朝です。今日は早番、笑顔で朝の送迎に臨みました。利用者の方が乗車してしばらくすると笑顔で「交流会楽しかったね」最高にうれしい一言で月曜日がスタートしました。

6月7日金曜日、家族交流会が盛大に開催されました。桜の里は平成24年8月に開所し、今回で7回目の交流会で、利用者・家族・職員合計50名の参加となり、とびきり楽しい会になりました。午前は自己紹介、スライドショーを使った活動報告、リズム活動。昼食時には栄養士による清涼飲料水の糖分の話。午後は館山市内にあるアロマステーション「かおり庵」のセラピストの方によるアロマセラピー教室と盛りだくさんの内容でした。

リズム活動ではラジオ体操に始まり、座って出来る手遊び歌、「YMCA」などはな体操など、日頃の活動の成果をみんなが歌って踊って、たくさん笑いながら披露しました。

午後はアロマセラピー教室、かおり庵のセラピストの方が各テーブルに座り、レモン・オレンジ・ペパーミント等の精油が心と身体に優しく広がり、すっかり癒されてしまいました。「肩の痛みが軽減した」「お腹の調子が良くなった」「気分が前向きになった」など大好評の午後のひと

時になりました。

今年の家族交流会は、例年のウォーキング、昼食作りが中心のプログラムと違い、日室内での交流会実施になりました。新しい試みで、不安と期待の中スタートしましたが、たくさんの方の会話に満開の花が咲いた素晴らしい会になりました。参加したすべての人に感謝したいです。ありがとうございました。



桜の里

レクリエーション大会

支援員 池上 龍矢

5月15日、旧富崎小体育館にて第10回レクリエーション大会に参加しました。皆んな鉢巻を巻いて気合いを入れ、やる気満々！

玉入れ、綱引き、リレーと競技が始まり、会場は大盛り上がりでした。

そして、毎年桜の里では催し物を行っているのですが、今年はなんと、「YMCA」と2020年オリンピックの応援歌にもなっている「パプリカ」の2曲を披露しました。完璧なダンスの後、お決まりのアンコール！中里の家の方々と巻き込み、皆んな楽しそうに踊っていました！



「令和」の時代に思うこと
10年目を迎えて

センター長 近藤大介

障害者就業・生活支援センターは平成30年度で全国334センター、千葉県は障害福祉圏域16か所すべてに設置されており、その中の安房圏域を担当するのが私たち障害者就業・生活支援センター中里です。言わずならばチーバ君の足の親指から足全体を担当しているのが中里です。

そんな中里は今年で10年目を迎えることとなりました。今振り返ると開所当初は初めての事業ということもあり、試行錯誤しながら支援を行っていたのが思い出されます。はじめは職員3名でスタッフし、不安な気持ちの半面、新しいものへ

の挑戦という楽しさも併せながら支援を行っていました。つらいこと、厳しいこと数多くありましたが、皆持ち前の笑顔を武器に乗り越えてきました。

令和元年、私たちセンターも企業支援員を含め現在は職員6名となり、さらに充実した支援を行えるようになりました。10年前は「障害者就業・生活支援センターって何？」と言われていましたが、今では愛称の「ナカポツさん」と呼んでいたことも多くなり、地域の方々にはとても理解していただけていると感じています。皆様のご協力や、センター職員の今までの努力、日々積み重ねたものがとても大きな成果として、実を結んだと思っています。

現在、障害者雇用に関しては、中央省庁の水増し問題をはじめ、多くの課題が残されているのが現状です。今後私たちセンターは、他のナカポツセンターをはじめ、多くの関係機関の方々と連携を強化し、課題に対して取り組んでいく必要があります。

「明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる」そんな支援をこころがけていきたいと思っています。

※千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会ホームページ
<http://www.chiba-centernw.com/>

中里の家

南房同友会

支援員 前田ひとみ

4月16日に中里ワークホームにて南房同友会の皆様に歌・踊り・三味線演奏を披露して頂きました。曲に合わせて手拍子をしたり、体を揺らしてリズムを取られたりと思い思いに楽しまれている利用者さん。一緒に参加できる演目もあり、皆さんでワイワイと楽しい時間を過ごすことができました。南房同友会の皆様楽しい時間をありがとうございました。



和麵家中里

和麵家中里
お得な定番メニュー



天花もりそば 900円

支援員 小池 雄吾

暑い夏に冷たい蕎麦はいかがですか？和麵家中里ではとてもお得な定番メニューがあります。それは2年前に始めてから大好評の「天花もりそば」です。写真の通りのボリュームでなんと900円です！ランチでガッツリと食べられる満足メニューをぜひ、ご賞味ください。ご来店お待ちしております。

営業日・時間

月～金 11時半～13時半

お問い合わせ先

千葉県館山市北条1239-11
☎ 0470(25)7322

ワークス 館山

大忙し農耕班

支援員 戸田 幸輝

農耕作業では現在、マリィゴールド・ひまわり等の花苗を育てています。

私は今年度より中里の家から異動となり、ワークス館山に配属されました。4月は新しい部署での初めての仕事に不安が募りましたが、親切な利用者の方々や優しい先輩職員のおかげで、今は楽しく充実して仕事に励んでいます。当初は今まで見たことのない量のマリィゴールド・ひまわりに唖然…「なんだこの量!」と思いました。順調に育っていく花々を見て喜びを感じるようになりました。

たくさんさんの事業所や施設から注文をいただき納品していると、我が子が巣立っていくような感覚を覚え、「綺麗に育っているかな?」と思うこともある今日この頃です。

花卉栽培は実に奥深く、花々は日ごとに新たな顔を見せてくれます。今後は花の知識をさらに深め、より良い品質の苗を作っていきたいと思っています。



ワークス 館山

平成最後と令和最初を余暇で満喫

主任 江部 徹

今年のゴールデンウィークは皆様どのように過ごされましたでしょうか。

ワークス館山では4月29日から5月2日までの4日間余暇支援を企画して利用者の皆様と楽しい時間を過ごしました。

中でも特に盛り上がりを見せたのは毎年恒例行事の地位を獲得したバーベキューパーティー。

食べたい食材の買い出しや火おこし、会場設営など、全て参加された皆様に役割が割りふられ、皆様各自任された係を手際良くこなされる姿を拝見して、日頃のお仕事の成果を感じることができました。

楽しいひと時を皆様と過ごし、利用者の方々、職員と親睦を深めることができたと感じております。



新職員紹介

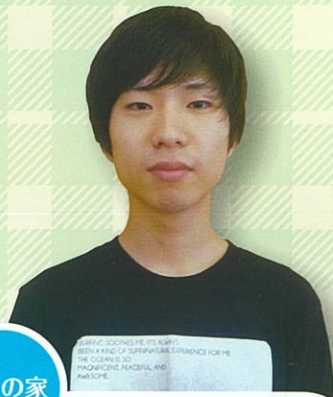


中里の家

廣澤 隆行

ひろさわ たかゆき

趣味 ゴルフ
座右の銘 一言芳恩



中里の家

渡邊 大樹

わたなべ だいき

趣味 ドラム・ランニング・華道
座右の銘 天に星 地に花 人に愛



中里の家

廣田 麻友子

ひろた まゆこ

趣味 読書
座右の銘 焦らずゆっくりと



中里の家

小池 真津美

こいけ まつみ

趣味 メダカの飼育
座右の銘 笑顔絶やさず明るく、
楽しく前向きに



中里の家

辻 よしみ

つじ

趣味 園芸
座右の銘 なんとかなる!



桜の里

杉本 裕子

すぎもと ひろこ

趣味 切手集め
座右の銘 七転八起

最新情報はこちら



社会福祉法人
安房広域福祉会HP



ボランティア募集

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。
作業など一緒に参加して下さい方、心よりお待ちしております。
まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

● 中里の家
館山市中里288-1
TEL 0470 (28) 2022
FAX 0470 (28) 2023
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

● 中里ワークホーム
館山市中里291
TEL 0470 (28) 2422
FAX 0470 (28) 2424
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp